

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 09027642
PUBLICATION DATE : 28-01-97

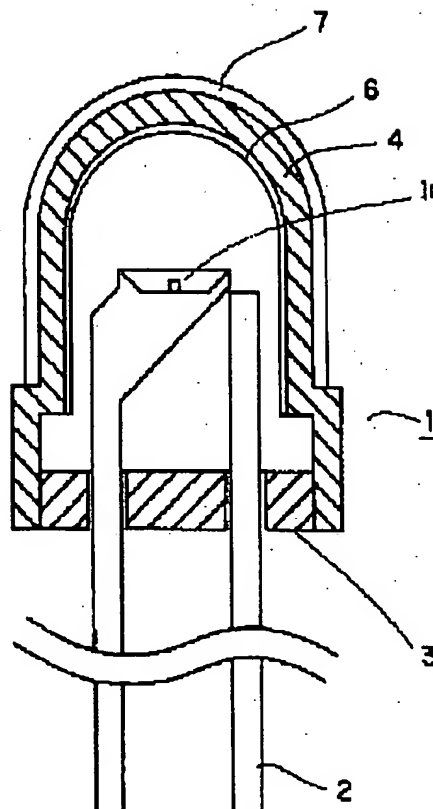
APPLICATION DATE : 13-07-95
APPLICATION NUMBER : 07177302

APPLICANT : CLARION CO LTD;

INVENTOR : YOKOTA SHUICHI;

INT.CL. : H01L 33/00 G09F 9/33 H01L 23/29
H01L 23/31

TITLE : LIGHTING DEVICE



ABSTRACT : **PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a lighting device of a structure, wherein the exchange work for a fluorescent substance is improved to realize a color tone change easily, the light-resistance of the fluorescent substance is increased to prevent the deterioration of a color tone and the reduction in luminance from being generated and with the improvement of the life characteristics of the device, a lighting, which has not a light emission unevenness and is stable, can be conducted.

SOLUTION: A blue LED chip 1 is provided on the end of a lead frame 2 and a base plate 3 is mounted to the frame 2. A cap member 4 is mounted to the plate 3 in such a way as to cover the chip 1. A fluorescent pigment is applied along the inner peripheral surface of the member 4 and a fluorescent pigment layer is formed in an even thickness on the inner side of the member 4. Moreover, an ultraviolet absorption layer 6 is formed in an even thickness along the outer peripheral surface of the plate 4 on the outside of the plate 4.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-27642

(43) 公開日 平成9年(1997)1月28日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 1 L 33/00			H 0 1 L 33/00	N
				M
G 0 9 F 9/33		7426-5H	G 0 9 F 9/33	A
H 0 1 L 23/29			H 0 1 L 23/30	F
23/31				
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)				

(21) 出願番号 特願平7-177302

(22) 出願日 平成7年(1995)7月13日

(71) 出願人 000001487

クラリオン株式会社

東京都文京区白山5丁目35番2号

(72) 発明者 横田 修一

東京都文京区白山5丁目35番2号 クラリ
オン株式会社内

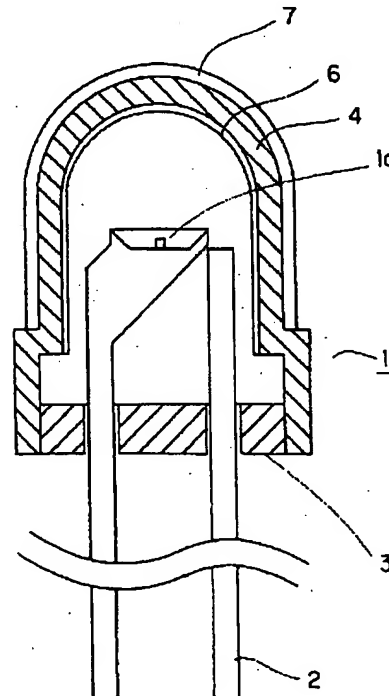
(74) 代理人 弁理士 木内 光春

(54) 【発明の名称】 照明装置

(57) 【要約】

【課題】 蛍光体の交換作業を改善して色調変更を容易に実現させ、蛍光体の耐光性を高めて色調の劣化や輝度の低下を防止し寿命特性の向上を図ると共に、発光むらのない安定した照明を行うことが可能な照明装置を提供する。

【解決手段】 リードフレーム2の先端部には青色LEDチップ1が設けられ、リードフレーム2にはベース板3が取付けられている。ベース板3には青色LEDチップ1を覆うようにキャップ部材4が取付けられている。このキャップ部材4の内側には、キャップ部材4の内周面に沿って蛍光顔料が塗布されて蛍光顔料層5が均一の厚みを持って形成されている。また、キャップ部材4の外側にはキャップ部材4の外周面に沿って紫外線吸収層6が均一の厚みを持って形成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 リードフレームの先端部にLEDチップを設けた照明装置において、

前記リードフレームにベース板を取付け、

前記ベース板に前記LEDチップを覆うようにキャップ部材を取付け、

前記キャップ部材に前記LEDチップの発光波長を変換するための蛍光顔料を混入したことを特徴とする照明装置。

【請求項2】 前記キャップ部材の内側に蛍光顔料層を形成し、

前記キャップ部材の外側に紫外線吸収層を形成したことを特徴とする請求項1記載の照明装置。

【請求項3】 リードフレームの先端部にLEDチップを設け、このLEDチップの発光波長を変換するための蛍光フィルムを備えた照明装置において、

前記蛍光フィルムはベースフィルムを備え、

このベースフィルムのLEDチップ側に蛍光顔料層を形成し、

前記ベースフィルムにおいて前記蛍光顔料層を形成した側と反対側に紫外線吸収層を形成したことを特徴とする照明装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、LEDチップと、このLEDチップの発光波長を他の波長に変換するための蛍光体を備えた照明装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、人間の目の色感度は色調によって違ってくる。例えば、すべての色が混じりあった白色照明は、光の強さが同じであるという条件下では青単色照明よりも明るく見える。また、色感度が最も高い色調は黄緑色であることがわかっている。そこで、青色LEDの発光波長を変換して白色発光や緑色発光を行う照明装置が従来より提案されている。この種の照明装置は、低波長帯域（紫、青、青緑）の光で蛍光するという蛍光体の性質を利用したもので、青色LEDからの光を蛍光体に当て、この蛍光体の働きによって青色LEDの発光波長を白色や緑色の発光波長に変換させて照明を行っている。

【0003】このような照明装置の一例を図4を参照して具体的に説明する。青色LED1は、リードフレーム2の先端部に青色LEDチップ1aを備え、この青色LEDチップ1aを透明な樹脂10により封止したものである。青色LED1の上方には蛍光フィルム11が配置されている。蛍光フィルム11には青色発光の波長を白色発光の波長に変える蛍光顔料11aが塗布されている。さらに蛍光フィルム11の上方には導光体であるイルミプレート12が配置されている。このイルミプレート12が照明箇所を構成する。

【0004】上記照明装置において、青色LED1を照明すると、青色LEDチップ1aからの光が蛍光フィルム11に当たる。このとき、青色LEDチップ1aの光の成分と蛍光顔料11aの蛍光成分とが加算され、輝度が高まって発光色は青色から白色に変わる。この蛍光フィルム11の発する白色発光を受けて、イルミプレート12が白色発光する。

【0005】しかし、上記の従来例では、次のような問題点があった。すなわち、波長変換を行うための蛍光フィルム11が不可欠であるため、蛍光フィルム11を置けない場所を照明することができなかった。つまり、照明装置を電子機器に組込む場合に、照明装置の設置箇所に関して、蛍光フィルム11が配置可能な場所であるという制約があった。

【0006】また、イルミプレート12は導光体であるため、通常、透明あるいは光が透過し易い部材から成り、しかも蛍光フィルム11の真上に位置している。したがって、照明していない時や強い外光がイルミプレート12に照射される時、蛍光フィルム11の蛍光顔料11aの地色がイルミプレート12に現れることがある。その結果、照明装置が組込まれた電子機器のエスカッションのデザイン性を損うおそれがあった。

【0007】このような問題点を解消する従来例として、図5に示すような青色LED13を用いた照明装置が提案されている。この照明装置は、蛍光フィルムを青色LED13の上方に配置するのではなく、青色LEDチップ13aを封止する樹脂14内に蛍光顔料15を混入させた点を特徴としている。蛍光顔料15は前記蛍光顔料11aと同様、青色発光の波長を白色発光の波長に変えるようになっている。

【0008】以上の照明装置によれば、蛍光フィルムを配置することが困難な場所でも、そこに青色LED13を取付けるだけで白色照明が可能となる。そのため、照明装置の設置場所に関する制約がない。また、蛍光フィルムを配置しないので、蛍光顔料の地色がイルミプレート12から見えない。したがって、照明装置が組込まれたエスカッションなどのデザイン性を維持することができる。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記の従来技術には次のような問題点があった。すなわち、蛍光体から得られる色調を変えることが要望される場合、蛍光フィルム11を配置する従来例（図4）にせよ、LED13の樹脂に蛍光顔料15を混入させる従来例（図5）にせよ、蛍光体を持つ蛍光フィルム11またはLED13を、まるごと交換しなくてはならない。このような交換作業は非常に面倒であった。そこで蛍光体の交換作業の効率を向上させることが望まれていた。

【0010】また、蛍光体には紫外線に弱いという短所がある。そのため、蛍光体が紫外線を長時間浴びると、

波長変換率が落ち、色調の劣化や輝度の低下、さらには寿命特性の短命化といった不具合が生じた。したがって、従来より優れた耐光性を持つ照明装置が待たれている。特に、車載用電子機器に組込まれる照明装置の場合、車内では強い日光が頻繁に当たるので、極めて高い耐光性を持つことが要求されている。

【0011】さらに、蛍光フィルムを用いる場合、LEDに近い部分の蛍光フィルムは強い光を発し、LEDから離れた部分の蛍光フィルムからの光は弱いことになる。つまり、光源であるLEDチップから蛍光フィルムまでの距離の相違が大きいので、蛍光フィルムの発光色にむらが生じ、これがイルミプレートの発光むらを招いた。

【0012】本発明は、上記の問題を解決するために提案されたものであり、第1の目的は、蛍光体の交換作業を改善して色調変更を容易に実現させる照明装置を提供することにある。また、本発明の第2の目的は、蛍光体の耐光性を高めて色調の劣化や輝度の低下を防止し寿命特性の向上を図ると共に、発光むらのない安定した照明を行うことが可能な照明装置を提供することにある。

【0013】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1の発明は、リードフレームの先端部にLEDチップを設けた照明装置において、リードフレームにベース板を取付け、ベース板にLEDチップを覆うようにキャップ部材を取付け、このキャップ部材にLEDチップの発光波長を変換するための蛍光顔料を混入したことを特徴とする。

【0014】このような構成を持つ請求項1の発明においては、キャップ部材をベース板から取外すことによりキャップ部材の交換を容易に行うことができる。そのため、蛍光顔料から得られる色調を変更したい場合、キャップ部材の交換に際して、蛍光顔料の種類が異なるキャップ部材に変えることで、これに対応することができる。このような請求項1の発明によれば、蛍光顔料から得られる色調を簡単に変更することができる。

【0015】また、請求項2の発明は、前記キャップ部材の内側に蛍光顔料層を形成し、キャップ部材の外側に紫外線吸収層を形成したことを構成上の特徴としている。

【0016】このような構成を持つ請求項2の発明においては、外光側に形成された紫外線吸収層により蛍光顔料層を効率良く紫外線から守ることができる。そのため、蛍光顔料層の耐光性が高まり、蛍光顔料層が発する色調の劣化や輝度の低下を防止でき、蛍光顔料層の寿命特性を延ばすことが可能となる。また、交換が容易であるキャップ部材を取換えるときに蛍光顔料の種類を変えることにより、蛍光顔料から得られる色調の変更を容易に実現することができる。

【0017】さらに、キャップ部材の内周面に沿って蛍

光顔料層を形成したので、光源であるLEDチップから蛍光顔料層までの距離をほぼ均等にすることができる。そのため、蛍光顔料層では発光むらが生じることがなく、安定した照明を行うことができる。

【0018】請求項3の発明は、リードフレームの先端部にLEDチップを設け、このLEDチップの発光波長を変換するための蛍光フィルムとを備えた照明装置において、蛍光フィルムはベースフィルムを備え、このベースフィルムのLEDチップ側に蛍光顔料層を形成し、前記ベースフィルムにおいて前記蛍光顔料層を形成した側と反対側に紫外線吸収層を形成したことを特徴とする。

【0019】このような構成を持つ請求項3の発明においては、外光側に形成された紫外線吸収層の働きにより蛍光フィルムを効率良く紫外線から守ることができる。そのため、蛍光フィルムは優れた耐光性を発揮することができる。したがって、蛍光フィルムが発する色調が劣化せず、且つ高い輝度を保つことができる。また、蛍光フィルムの寿命特性も延ばすことができる。

【0020】

【発明の実施の形態】

(1) 第1の実施の形態

以下、図1を参照して本発明の第1の実施の形態を説明する。図1は第1の実施の形態におけるLEDの断面図である。第1の実施の形態は請求項1に対応している。なお、以下に説明する発明の実施の形態において、図4に示した従来例と同一の部材に関しては、同一符号を付し、説明は省略する。

【0021】(構成) リードフレーム2の先端部付近にはベース板3が取付けられている。ベース板3には青色LEDチップ1aを覆うように樹脂製のキャップ部材4が嵌込まれて取付けられている。このキャップ部材4には、青色発光の波長を白色発光の波長に変える蛍光顔料5がほぼ均一に分散されて混入されている。

【0022】(作用および効果) 以上のような構成を有する第1の実施の形態において、青色LEDチップ1aからの光が蛍光顔料5に当たると、青色LEDチップ1aの光の成分と蛍光顔料5の蛍光成分とが加算され、輝度が高まって発光色は青色から白色に変わり、青色LED1は白色に発光する。

【0023】このような第1の実施の形態によれば、次のような作用効果を獲得することができる。すなわち、キャップ部材4をベース板3から取外すだけでキャップ部材4を交換することができる。そのため、蛍光顔料から得られる色調を変更したい場合(例えば、白色発光から緑色発光に変えたい場合)、キャップ部材4の交換を行い、蛍光顔料5の種類が異なるキャップ部材4に変えることにより、これに対応することができる。したがって、第1の実施の形態では蛍光顔料5が発する色調を簡単に変更することが可能である。

【0024】(2) 第2の実施の形態

続いて、図2を参照して本発明の第2の実施の形態を説明する。図2は第2の実施の形態におけるLEDの断面図である。第2の実施の形態は請求項2を対応している。なお、上記第1の実施の形態と同一の部材に関しては、同一符号を付し、説明は省略する。

【0025】（構成）ベース板3に取付けられたのはキャップ部材4の内側には、キャップ部材4の内周面に沿って蛍光顔料が塗布されて蛍光顔料層6が均一の厚みを持って形成されている。この蛍光顔料層6は青色発光の波長を白色発光の波長に変えるようになっている。また、キャップ部材4の外側にはキャップ部材4の外周面に沿って紫外線吸収層7が均一の厚みを持って形成されている。

【0026】前記紫外線吸収層7は紫外線吸収剤が塗布されて構成されている。紫外線吸収剤とは、可視光を吸収することなく、光化学的に有害な300～400nmの紫外線のみを吸収して大部分を熱エネルギーに変換して放散する物質である。現在、実用化されている紫外線吸収剤としては、サリチル酸誘導体、ベンフェノン系、ベンゾトリアゾール系などがある。

【0027】（作用および効果）以上のような構成を有する第2の実施の形態では、青色LEDチップ1aからの光が蛍光顔料層6に当たると、青色LEDチップ1aの光の成分と蛍光顔料層6の蛍光成分とが加算され、輝度が高まって発光色は青色から白色に変わり、青色LED1は白色に発光する。

【0028】このような第2の実施の形態においては、紫外線吸収層7を外光側にあるため、この紫外線吸収層7が蛍光顔料層6を効率良く紫外線から守ることができる。したがって、蛍光顔料層6の耐光性を高めることができる。その結果、蛍光顔料層6が発する色調の劣化や輝度の低下を防ぐことができ、さらには蛍光顔料層6の寿命特性を延ばすことができる。このような高い耐光性を持つ照明装置は車載用電子機器に組込まれるものに好適である。また、キャップ部材4を取換えるときに蛍光顔料の種類を変えることで、蛍光顔料から得られる色調の変更を容易に実現することができる。

【0029】さらに、キャップ部材4の内周面に沿って蛍光顔料層6を均一の厚みで形成しているため、光源である青色LEDチップ1aから蛍光顔料層6までの距離は、蛍光顔料層6のどの位置でもほぼ均等である。したがって蛍光顔料層6は発光むらが生じ難く、青色LED1はむらなく白色発光を行うことができる。その結果、第2の実施の形態は安定した白色照明を行うことができる。

【0030】（3）第3の実施の形態

さらに、図3を参照して本発明の第3の実施の形態を説明する。図3は第3の実施の形態における蛍光フィルムの拡大断面図である。第3の実施の形態は請求項3を対応している。

【0031】（構成）第3の実施の形態における基本的な構成は、先に示した図4の従来例と同様であり、蛍光フィルムを備えたものであるが、この蛍光フィルムに構成上の特徴がある。すなわち、図3に示すように、蛍光フィルム16にはベースフィルム16aが設けられている。

【0032】このベースフィルム16aにおいて青色LEDチップ1a側（図中上側）には蛍光顔料層8が均一の厚みを持って形成され、蛍光顔料層8を形成した側と反対側（図中下側）には紫外線吸収層9が均一の厚みを持って形成されている。このうち、この蛍光顔料層8は前記第2の実施の形態の蛍光顔料層6と同様、青色発光の波長を白色発光の波長に変えるようになっている。また紫外線吸収層9は、前記第2の実施の形態の紫外線吸収層7と同様、紫外線吸収剤が塗布されて構成されている。

【0033】（作用および効果）このような構成を持つ第3の実施の形態では、紫外線吸収層9は外光側に形成されているため、紫外線吸収層9が蛍光フィルム16を効率良く紫外線から守ることができる。したがって、蛍光フィルム16は耐光性が向上する。これにより、蛍光フィルム16が発する色調が劣化することがなく、且つ高い輝度を保つことができる。また、蛍光フィルム16の寿命特性も延ばすことができる。

【0034】（4）他の実施の形態

なお、本発明の照明装置は、以上のような実施の形態に限定されるものではなく、構成部材の材質、形状や寸法は適宜変更可能であり、例えば、キャップ部材はラバー製であっても良い。また、蛍光顔料または蛍光フィルムの種類としては、青色LEDの発光波長を白色の発光波長に変換させるものだけではなく、緑色の発光波長に変換させるであっても良い。

【0035】

【発明の効果】以上述べたように、本発明の照明装置によれば、ベース板に取付けたキャップ部材の交換作業が容易であるため、キャップ部材に含まれる蛍光顔料の交換作業を改善することができ、色調変更を容易に実現することができる。また、紫外線吸収層を備えることにより耐光性を高めることができ、色調の劣化や輝度の低下を防止して寿命特性の向上を図ることができる。さらに、キャップ部材の内周面に沿って蛍光顔料層を形成したので、光源であるLEDチップから蛍光顔料層までの距離をほぼ均等にすることができ、蛍光顔料層に発光むらが生じることがなく、安定した照明を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態におけるLEDの断面図。

【図2】本発明の第2の実施の形態におけるLEDの断面図。

【図3】本発明の第3の実施の形態における蛍光フィルムの拡大断面図。

【図4】従来の照明装置の断面図。

【図5】従来の照明装置におけるLEDの断面図。

【符号の説明】

1, 13…青色LED

1a, 13a…青色LEDチップ

2…リードフレーム

3…ベース板

4…キャップ部材

5, 11a, 15…蛍光顔料

6, 8…蛍光顔料層

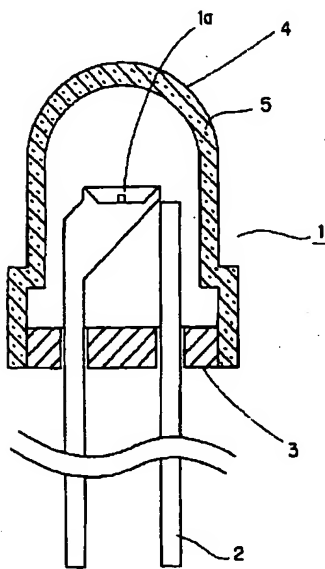
7, 9…紫外線吸収層

11, 16…蛍光フィルム

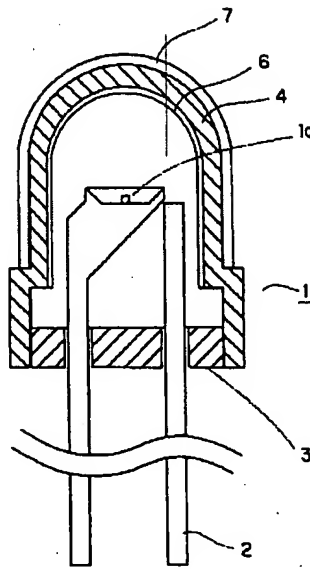
10, 14…樹脂

12…イルミプレート

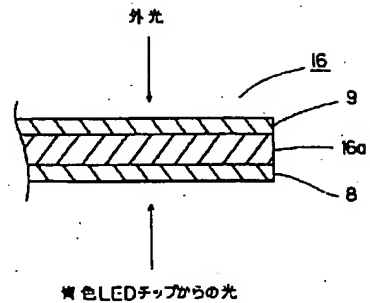
【図1】



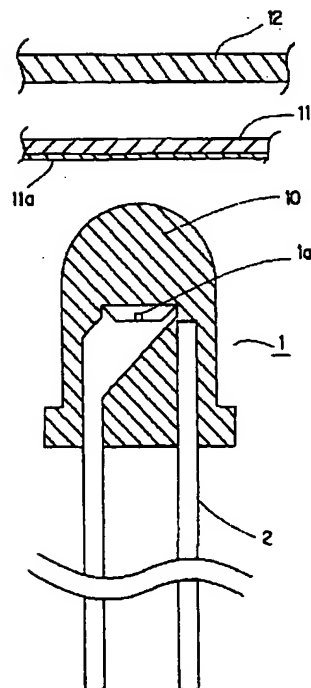
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

